

平成27年度3月定例記者会見 会見録

日時 平成28年3月24日(木)午後4時40分～5時

場所 市役所2階第1特別会議室

(市長)

はじめに、本市の児童相談所に関する事案についてでございます。児童相談所が関わっておりました男子中学生が亡くなられたことに対しまして、心よりご冥福をお祈りいたします。セーフティネットである児童相談所におきまして、児童の命を救えなかったことを大変残念に思っております。今回の事案につきましては、市社会福祉審議会児童相談所措置部会等におきまして、対応内容を検証し、今後、児童の保護に万全な対策が講じられるよう、しっかり対処してまいります。

次に、さきほど閉会いたしました3月定例会議につきまして、お話しをさせていただきます。定例会議につきましては、去る2月22日から32日間、ご審議をいただいたところでございまして、提案いたしましたすべての案件につきまして、ご議決をいただきました。議員の方々からは、平成28年度当初予算や平成27年度3月補正予算をはじめ県費負担教職員の権限移譲に伴う給与等の条例や、高齢者支援の取り組みなど、多岐にわたる質疑等をいただきました。市といたしましても、引き続き、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

次に、東日本大震災についてでございます。わが国に甚大な被害をもたらしました東日本大震災から5年が経過いたしました。改めて、震災で犠牲になられました方々に哀悼の意を表すとともに、被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、一日も早い、復興、復旧を願っております。市といたしましては、この震災での教訓を踏まえ、発災時における迅速な対応や広域的な自治体間の連携などの防災体制の構築を図るとともに、市民の皆様が安全で、安心して暮らせるよう、引き続き、地域防災力の向上に努めてまいりたいと考えております。

なお、銀河連邦共和国の一員である大船渡市におきましては、復興に携わる多くの方のご尽力により、災害公営住宅の整備や高台への集団移転など、復興計画事業のうち約7割が完了し、残りの3割についても、ほとんどの事業が順調に進捗していると伺っております。今月13日には、大船渡駅周辺地区の第1期まちびらきも行われました。今後も、大船渡市をはじめとする被災地の皆様に寄り添った支援につきまして、しっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

次に、相模原市救援物資集積・配送センターの開設についてでございます。同センターにつきましては、防災備蓄のさらなる充実や本市が被災した際の生活必需品等の救援物資の受け入れに対応するため、清新学校給食センターの跡地を活用し、設置した施設でございまして、本年4月からの運用開始を予定しております。これまで、防災物品を備蓄する倉庫はございましたが、大量の救援物資を受け入れ、円滑に各避難所等へ配送できる市内初のセンターを開設することによ

りまして、市民の皆様の安全、安心への対策がさらに高まるものと考えております。施設の概要でございますが、延床面積は1,321平方メートルで、物資を大型トラックで直接搬入でき、非常用発電設備や防火水槽も備えております。開設後は、本市と災害時における協定を締結している神奈川倉庫協会や神奈川県トラック協会など、関連する団体と連携し、万全の体制で運用を図ってまいります。

次に、昨年3月に一部開通いたしました津久井広域道路の4車線化についてでございます。緑区根小屋付近の荒匂大橋がこれまで2車線でしたが、ここで新たに橋梁が完成いたしましたことから、東金原交差点付近から相模原インターチェンジ付近までの区間で車線の切り替え作業を行い、3月中に4車線での供用を開始したいと考えております。

次に、田名塩田地区に整備いたしました横断歩道橋「しおだ夢のかけ橋」についてでございます。田名塩田地区から市立夢の丘小学校へ通学する児童につきましては、交通量の大変多い国道129号を横断する必要があり、安全確保が長年の課題でございました。今月30日、国道をまたぐ横断歩道橋が開通いたしますので、新学期からは、より安全な環境の中で通学していただけるものと考えております。地域念願の施設でございますことから、当日は、地域主催による「渡り初め式」も開催される予定となっております。

続きまして、カナダのトロント市との友好都市提携25周年についてでございます。本市は平成3年、のちにトロント市と合併したスカボロー市と、友好都市の提携をいたしまして、今年5月31日で記念すべき25周年の節目を迎えます。これまで、トロント市とは、教育やスポーツ、経済など様々な分野で交流を深めており、昨年7月には、両市の友好を一層深めるため、本市の副市長や市議会議長らがトロント市を訪問し、桜の植樹を行いました。また、来月15日には、トロント市のジョン・トーリー市長をはじめとする友好訪日団が本市にお越しになり、友好都市提携25周年記念レセプション等を開催いたします。詳細につきましては、後日、発表させていただきます。

最後になりますが、4月2日(土)と3日(日)に、第43回市民桜まつりを開催いたします。今年の桜まつりは、毎年恒例の市民の手づくりによる催し物や市民パレード、絵画コンテストをはじめ、銀河連邦共和国の物産展などを開催いたします。また、JAXA角田宇宙センターがある、宮城県角田市が、このたび、新たに銀河連邦共和国に加入いただく運びとなりましたことから、4月2日に全共和国の大統領にご出席いただき、「銀河連邦加盟調印式」を行う予定となっております。今年は2年ぶりの桜まつりでございまして、桜の満開の時季と重なってほしいと思います。市民をはじめ、多くの皆様にお越しいただき、一緒にお祭りを盛り上げ、大いにお楽しみいただきたいと思います。記者の皆様も、ご都合がございましたら、ぜひ、取材をお願いいたします。

(記者)

被災地への職員派遣は新年度も継続するのですか。

(市長)

震災発生から本年度までに、延べ539名の職員を派遣してまいりました。来年度も大船渡市に6名、石巻市に4名の計10名の職員派遣を継続してまいります。

(記者)

児童相談所が関わっておりました男子中学生が亡くなられたことについて、どこに問題があったと考えていますか。

(市長)

児童相談所として保護者とどのように相談してきたのか、また、子どもの訴えに対して、子どもに寄り添った保護を実施することができたのか、それらが児童相談所の対応として大切であったのではないかと考えております。このたびの児童相談所の対応における問題点については、しっかりと検証し報告をさせます。

(記者)

検証はどのような方法で行いますか。

(市長)

弁護士や医師などの有識者7名で構成される社会福祉審議会児童福祉専門分科会の児童相談所措置部会に報告し、第三者による調査、検証を行っていただきます。

(記者)

検証結果を基に、組織の見直しなどは行うのですか。

(市長)

組織のあり方や対応の不備についてご指摘をいただくようであれば、指摘事項について改善を行いたいと思います。

(記者)

児童相談所では、不適切な所持品検査が行われたことなど、不祥事が相次いでいる。相模原市では、政令指定都市への移行時点で児童相談所の運営を行うこととなったが、いまだに組織が未成熟なのではないかという指摘もあると思います。その点についてどう考えていますか。

(市長)

政令指定都市移行から5年が経過しており、相模原市が運営を引き継いだから組織としての対応力が低下したということは許されることはありません。これまでも、しっかりと対応はしてきたと考えておりますが、2件の問題が発生してしまいました。これらの問題の原因をわか

りで見極めていかななくてはならないと考えております。

(記者)

先日の児童相談所所長の記者会見で、相模原市では職員一人当たりの受け持つ件数が90件あり、理想とされる職員一人当たり30件から50件を上回っていると伺いました。職員が不足しているのではないかと思います。どのようにお考えですか。

(市長)

他の児童相談所と比較し、職員の不足が対応能力の低下につながっているということであれば、財政上の問題もありますが、最優先で解決しなければならないと考えています。

(記者)

座間市のマスコットキャラクターざまりんが、自衛隊の迷彩服を着用し銃を持ったデザインに改変され問題となりましたが、相模原市のマスコットキャラクターさがみに改変の申し出があった場合はどのように対応されますか。

(市長)

本市では、マスコットキャラクターについて一部でも改変を行うことはできない規定となっております。また、マスコットキャラクターの使用についても、所定の手続きを行い、改変を行わないなど条件を守ってもらうことで使用を許可しています。

(記者)

市のイメージアップなどに使用するのが、通常の使われ方だと思いますが、いかがですか。

(市長)

座間市の件についての発言は差し控えさせていただきますが、マスコットキャラクターは、子どもをはじめとする市民の皆様に夢を持っていただけるような使い方をするべきものであると考えており、そのような趣旨に沿った使用をしていただくために規定を設けております。

(記者)

児童相談所が関わっておりました男子中学生が亡くなられたことについて、市長はいつ、どのように把握されましたか。

(市長)

3月11日頃に担当の部長から、今回の件について報告を受けました。

(記者)

2年前の11月に男子中学生が自殺未遂を図った時点で、児童相談所から担当の副市長へ報告をしたという話がありますが、その時点で市長は報告を受けていなかったのですか。

(市長)

初めて報告を受けたのが今年の3月11日であり、2年前には報告を受けていませんでした。

(記者)

児童相談所の事案の検証は、どのような体制で行うのですか。また、検証には学校も対象とするのですか。

(市長)

社会福祉審議会児童福祉専門分科会の児童相談所措置部会という第三者委員会で調査、検証を行います。男子中学生との関わりの中で、学校との連絡調整を図っていたこともありますので、調査の中で必要があれば学校への調査、検証も行います。

以 上